

2. 評価結果（詳細）

主任評価調査員 中村朋美 評価調査員 浜田千里

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの開設時に「誰もが気軽に立ち寄れる地域のお茶の間を目指して」を理念の一つとして全職員で定めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎月のカンファレンスを利用して、理念の実践に向けて話し合っている。理念を毎日のケアに活かせるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域の行事や幼稚園、小学校などの行事にも参加している。また、ホーム主催の行事に地域の方が参加したり、母体法人の診療の待ち時間を利用して地元の方々と交流する機会等もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解しながら、自己評価を一ヶ月程かけ全職員で行っている。評価での結果や気づきを活かしながら、サービスの質の向上に活かすよう取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの報告や評価の説明・地域との連携・災害対策について等、説明や質問、意見など出され、できるものから取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者とは顔なじみであり、相談や連携が図られている。運営推進会議にも市町村の担当者は参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りを2・3ヶ月に1度発行し、便りや電話、家族の来訪時に個別に近況など報告している。金銭管理の状況も毎月送付にて報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や電話等で家族が気軽に意見が言えるように雰囲気づくりを行っている。出された意見や要望は、職員で話し合いすぐに対応できるように取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、離職者も少ない。職員と入居者、家族との馴染みの関係が出来ている。職員採用時にも、ホームの理念やケアの考え方をしっかりと伝え離職や入居者の不安がないように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、資格や経験を考慮し、全職員で交代しながら参加しており、伝達講習も行っている。毎朝のミーティングや毎月のカンファレンスで事例を通した内部研修等も行っており、職員の技術や知識の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会にも参加している。地域にある他のグループホームとも気軽に連絡相談できる関係を築いており、互いにサービスの質の向上させていく取り組みをしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には、ホームにお茶飲みにお誘いするなどの声掛けを行っている。入居前には必ず本人に会い、心身の状況や本人の思いの把握に努め、本人が不安なく入居出来るように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者と寄り添い、触れ合うことを大切にしている。ラッキョ漬けやあく巻きなど調理法を教わるなどの日常活動の中で、喜びや楽しみごとなど共にしながら、励ましたり、励まされたりして支えあっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の日常の会話の中で入居者が発した思い等の言葉をそのまま記録している。また、入居者の気持ちを理解するなど、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のかかわりの中で、本人家族の意向を把握し、毎月職員全員によるカンファレンスで意見を出し合い、それぞれの意見を反映した介護計画を作成している。家族にも説明を行い同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月カンファレンスを行い、モニタリングと評価を行っている。状態の変化に応じて随時に介護計画の見直しをしている。家族にも説明をし、同意を得ている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしてい る	病院受診・早期退院・医療処置を受けながらの 生活の継続・訪問看護の支援・温泉や墓参りな どの特別な外出の支援など本人、家族の希望や 状況などに応じて柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得ら れたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられるように支援している	母体法人の医療機関がかかりつけ医になってい るが、入居者の状況や希望する場合は他の医療 機関にも受診の支援を行っている。これらの医 療機関とは相談・連携を行い、入居者が適切な 医療を受けられるように支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、で きるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかか りつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共 有している	看取りに関する指針を定めており、ホームが 出来る最大限の支援について主治医、家族、看護 師を交え話し合っている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよう な言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱い をしていない	入居者の誇りやプライバシーを損ねないように 声掛けや対応に留意している。個人情報の取り 扱いについても契約時に個人情報の利用目的の 説明を行い、漏洩防止に取り組んでいる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの決まりごとは基本的に昼食、夕食時間 だけで、生活リズムに留意しながら、起床や就 寝時間や入浴など本人の希望や状況に応じて柔 軟に支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、入居者の希望や好みのもやその日にある食材を考慮して決めている。買い物は入居者と一緒に行き、調理の下ごしらえ、盛り付け、下膳なども入居者と職員と一緒に言いながら食事を楽しむ支援を行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一日おきを基本としながら、入居者の希望に応じて毎日でも入浴できる。また、時間帯も朝や夕方など希望する時に楽しく入浴できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸・猫の世話・歌・洗濯物たたみ・ちり紙折り・調理の下ごしらえなど、一人ひとりの得意なこと、好きなことなど力を発揮してもらいながら生活ができるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に、散歩や買い物・ゴミだしなど、言葉掛けの工夫を行い楽しみながら外出している。また、墓参り・温泉など一人ひとりの希望する外出の支援も行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠しておらず、入居者、来訪者が気軽に出入りが出来るように、玄関戸も冬場以外は開けている。管理者や職員は、鍵を掛けないケアの重要性を認識しており、入居者の様子や言動を見守り、外出しそうな時には、声掛けや一緒に付き添うなどしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと夜間想定、初期消火、移動方法など指導をもらいながら入居者も一緒に避難訓練を行っている。台風などの災害に備えた対策もなされている。地域の住民との協力体制や訓練への参加等の呼びかけは検討段階である。	○	災害時に住民の協力が得られるように、運営推進会議や自治会などで検討しながら、災害時の支援に向けた地域住民との協力関係を築いていく取り組みが期待される。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮し、献立が片寄らないように工夫している。食事量、水分摂取量を毎日記録し、体重や体調変化に留意しながら、一人ひとりの状態の把握に努めている。入居者の好みの食べ物を把握し、食欲低下を防ぐ配慮などもなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には、家庭的な家具が置かれ、いつでも手に取れる本の配置、みんなで作ったラッキョ漬、季節が感じられる装飾品など生活感にあふれ、居心地良く過ごせるような工夫が随所にみられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、馴染みの物、家族との写真などが持ち込まれ、入居者の状況や好みに応じて、楽しみを引き出す工夫がされている。それぞれ個性的にその人らしく安心して過ごせる配慮がなされている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。